

フルバトン®フロアブル5で

ハスモンヨトウ
オオタバコガを



徹底予防!



浸透性と移行性*に優れ、ドローンで散布できます!

※葉内移行性や上方移行性

だいたいのすみずみまで成分が行き渡り
重要害虫の食害を防いで、徹底予防!
長い残効、優れた経済性。



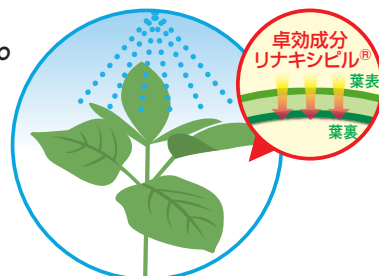
50 以上の幅広い
登録作物!

隣接する作物への
考慮がしやすく
使いやすい



10 以上の作物に「無人航空機による散布」登録!
ノズルの目づまりトラブルゼロ。ドローン散布に適したフロアブル製剤です。

- 特長 1** ハスモンヨトウ、オオタバコガへの高い防除効果。
- 特長 2** 葉裏に産卵され、孵化した幼虫も防除できる、
優れた浸透性と移行性。
- 特長 3** すばやく摂食活動をストップ。
長い残効と耐雨性で、しっかりだいたいを守る。



優れた
浸透性と
移行性

薬液のかかりに
くい葉裏に潜む
幼虫の食害も、
徹底予防!



佐賀県杵臼郡白石町

原巻 守さん

地域の生産者9戸で構成する農事組合法人「2Bファーム」の代表。同法人では水稲、だいず、小麦など50haの圃場を経営。原巻さんはだいず(フクユタカ)4.5haのほか、水稲、キャベツなどを作物。

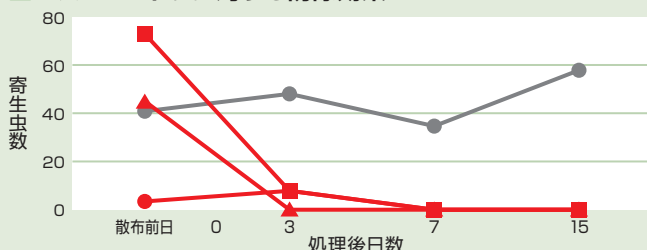
葉全体にまんべんなくかからなくても、 葉裏までしっかり浸透。 だから、チョウ目害虫を確実に防除できる

散布した後、速効で効果が出るね。害虫が葉の上でやられていくのがすぐ見える。残効も20日以上はあるんじゃないかな。生産者のうち大体の人は、「害虫に直接かからないと防除できない」というイメージを持ってるんじゃないかな。ところがプレバソン®フロアブル5は、葉全体にまんべんなくかからなくても十分効果がある。葉裏までしっかり薬剤が浸透して、チョウ目害虫を確実に防除できる。葉の食害が全くなくなるからよくわかるよ。

※コメントは取材当時の個人の感想です。本内容は2022年7月取材時のものです。

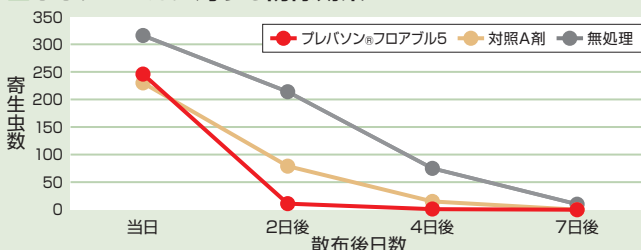
重要チョウ目害虫に、高い効果を発揮！

■ハスモンヨトウに対する防除効果



2009年 福岡県農業生産資材協会【試験方法】品種:フクユタカ ◎処理日:9月9日 ◎散布液量:0.8ℓ/10a(無人ヘリ散布)、200ℓ/10a(地上散布) ◎散布条件:ほぼ無風 ◎発生条件:中発生(放虫)

■オオタバコガに対する防除効果



2015年(一社)日本植物防疫協会茨城研究所 ◎品種:タチナガハ ◎播種:2015年6月29日 ◎発生状況:中→極少発生(放虫) ◎区制:1区 4.8m(1.6m×3.0m) 20株 3連制 ◎処理年月日:2015年9月14日 ◎作物のステージ:草丈90cm前後、莢伸長期 ◎処理方法:供試薬剤を所定の希釈倍率に希釈し10aあたり271ℓの割合で葉の表裏が十分に濡れるように背負式全自動噴霧器を用いて散布した。展着剤は加用しなかった。

適用害虫と使用方法(適用表から一部抜粋)

2023年7月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロロントラニプロールを含む農薬の総使用回数
だいず	ハスモンヨトウ マメシキイガ ウコンノメイガ オオタバコガ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
		16~32倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による散布	
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシキイガ ウコンノメイガ オオタバコガ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
		16~32倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による散布	



△ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調整してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の使用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は手袋、長スリーブ、長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはからないようにしてください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

殺虫剤分類 28

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項:薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、プレバソン®フロアブル5または他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通して適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1)Insecticide Resistance Action Committee(IRAC)ウェブサイト(<https://irac-online.org/>)
(2)<https://www.fmc-japan.com/trendinfo/irac>

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●防除日誌を記載しましょう。

©2023 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社、関連会社の登録商標です。

PRV-FHD2A



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)

製品情報は
こちらから➡

